

## BRIDGE LIVE 簡易セットアップガイド

2026年12月24日  
株式会社フォトロン  
映像システム事業本部  
ディストリビューションPJ

本マニュアルは初めてBRIDGE LIVEの取扱いを行う事を想定し作成しています。  
取扱い前にご確認の上、ご準備をお願いいたします。

### **BRIDGE LIVEとHELO Plus の違い:**

- **Bridge Live:** 大規模/プロフェッショナルな制作向けで、ビデオストリーミングとネットワークの知見が一定程度あることを想定しています。
- **HELO Plus:** 小規模な制作やビデオ技術の初心者向けを想定しています。

### 同梱物

BRIDGE LIVE貸出機セットには、以下が同梱されています。

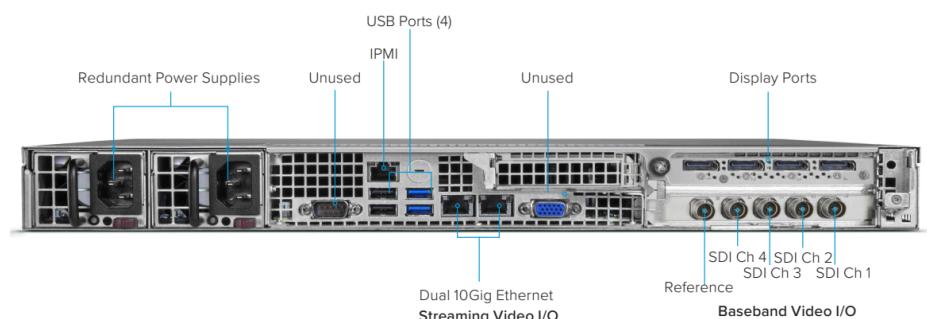
- BRIDGE LIVE 本体
- 電源ケーブル x 2本
- 本セットアップガイド

### <ご留意点>

キーボード/マウス（初期設定用）、ディスプレイ表示用のモニター/ケーブルはお客様にてご用意をお願いいたします。

### 物理配線

本体とモニター（DisplayPort）、キーボード、マウスの接続をお願いします



### 動作環境

- 温度：5～35 °C
- 湿度：80～90% 結露なき事

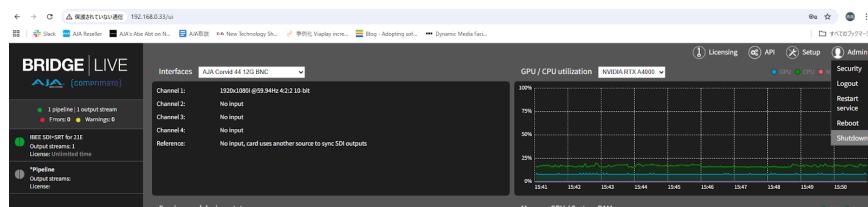
### 起動

前面右上の物理電源ボタン押下にて起動します。



## シャットダウン・リブート操作

画面右上、Adminをクリック、Shutdown/Rebootをクリックします。

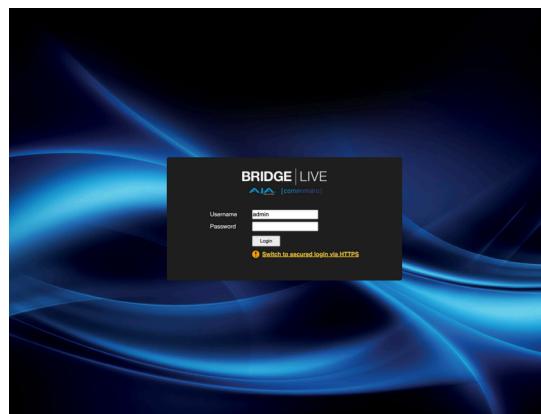


## ワークフロー例

- **入力ソース:** SDI (1.5G/3G/12G)、SRT、NDI
- **出力:** 拠点間の素材伝送、クラウドへの素材伝送、CDNへの伝送
- **エンコーダ:**
  - TSフォーマット: SRT, UDP, RTMP, HLS
  - ビデオコーデック: H264, H265, JPEG2000 (オプション)
  - オーディオエンコーダ: AAC, AES (非圧縮), AC3

## 初期ログイン

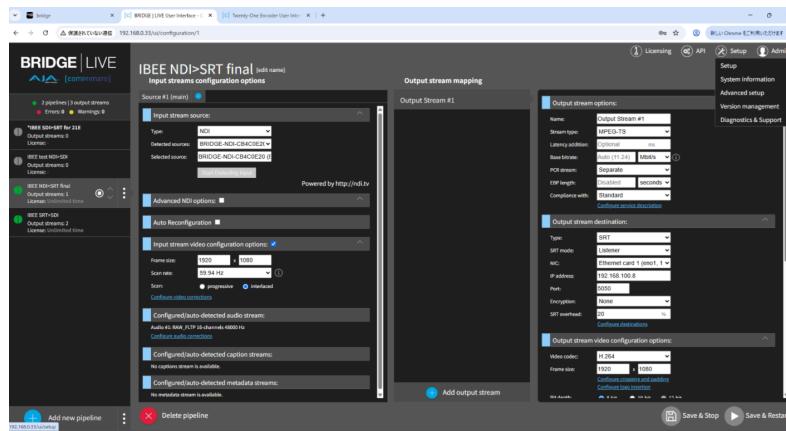
起動後、ディスプレイ上に以下画面が表示されます。



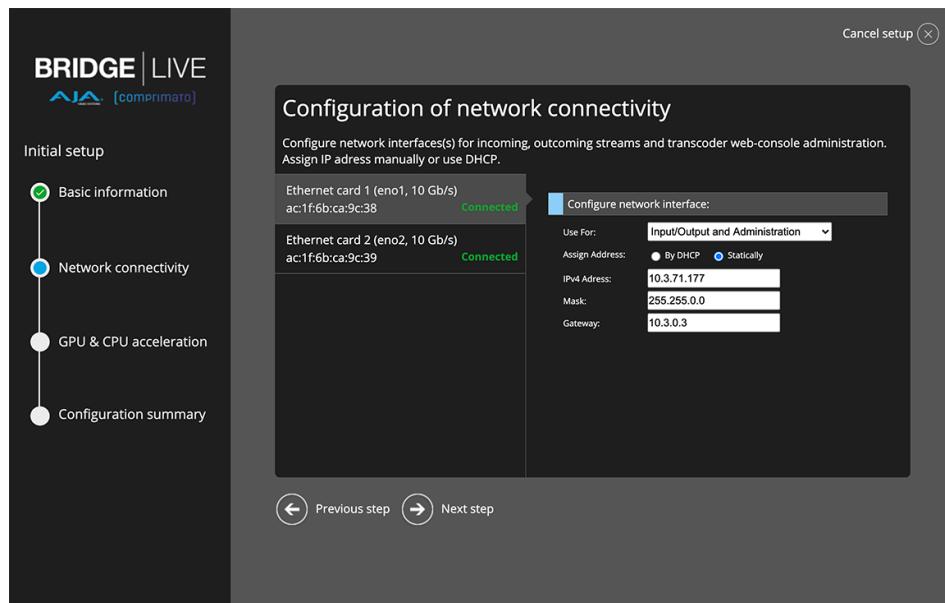
キーボード (マウス) で以下情報の入力をお願いします。

- username admin
- PW blve00008

## 初期セットアップ



画面右上Setupをクリックすると以下IPアドレスを設定する画面に推移します。2つのLANポートの役割を設定します。



### ・Administration

当該ポートを制御ポートとして利用する際に選択します。

その後、**Statically**を選択後、IPアドレスの設定を行なうと当該IPアドレスでウェブGUIより詳細設定が可能となります

### ・Input/Output

ストリームの入出力で利用する際に選択します

### ・Input/Output and Administration

制御ポート兼ストリームの入出力で利用する際に選択します

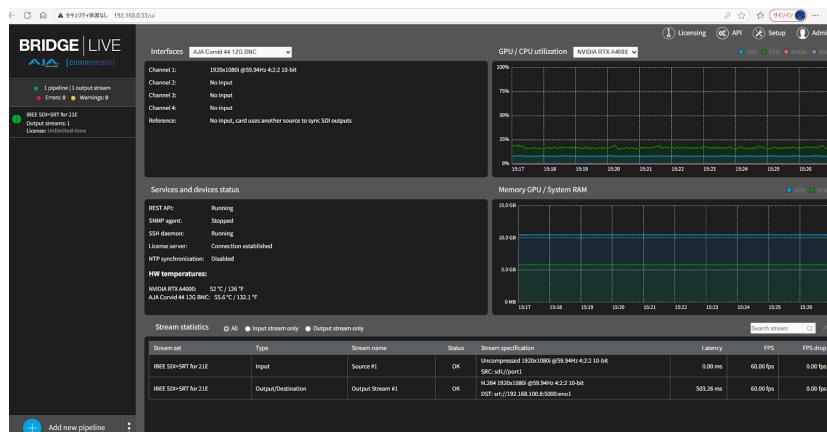
### ・Don't use

ポートを利用しない時に選択します

【ご留意点】 Administrationが2つのポートに設定されないようご留意下さい。

## モニタリング画面

以下画面にて各ネットワークインターフェースの状態確認、GPU/CPU使用率メモリ/システムRAM使用率の確認が可能です。画面下部では内部処理の遅延量の確認が可能です。

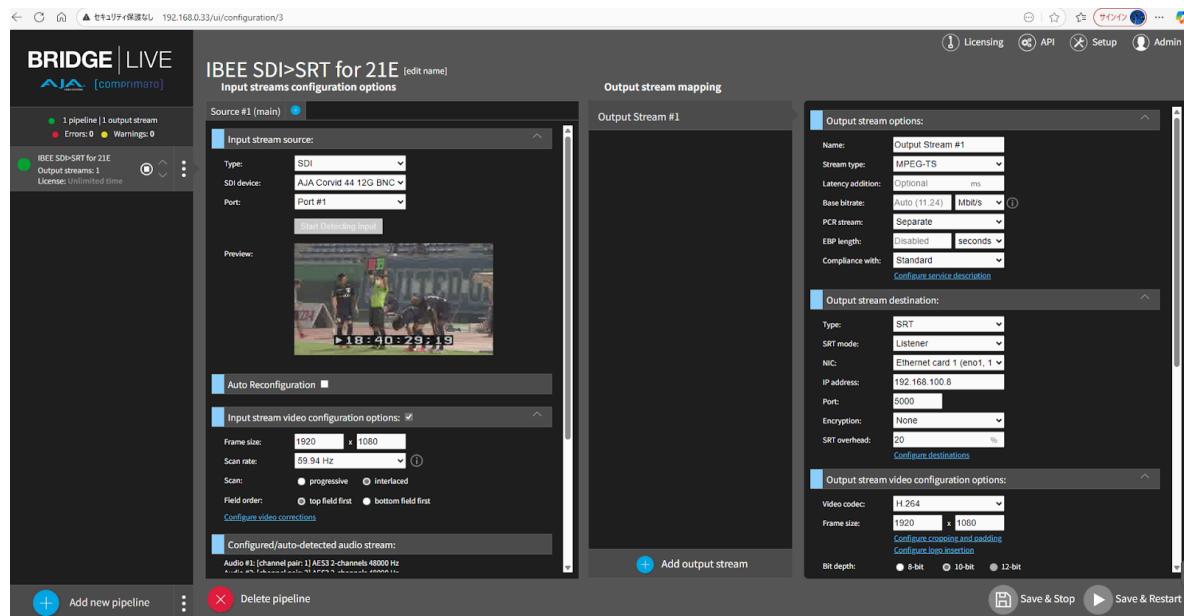


【TIPS】 フレーム落ちが高い頻度で発生する際

CPU/GPUの使用率が100%近くで推移していないかご確認をお願いします。

## 設定画面

画面左下十ボタンを押下、Pipeline作成を開始します。



入力ソースを画面左側 (Input streams configuration options)

出力フィードを画面右側 (Output stream mapping) で設定します。

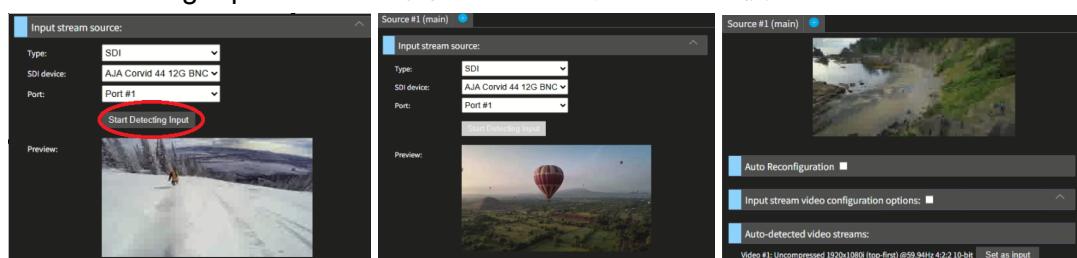
### ■Video設定

#### Input streams configuration options

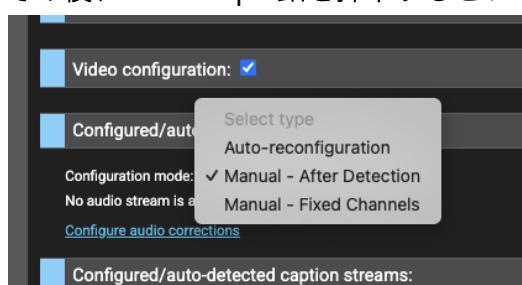
- Typeよりソースの種別を選択します (SDI,SRT,NDI等)
- インターフェースを選択します
  - SDIソースの場合、利用するポート番号を設定します。
  - ソースがIPの場合、適切なNICポートを選択します。

#### [TIPS] Input stream source設定方法

- Start Detecting Inputボタンを押下すると、入力ソースを検知します。



- その後、Set as input鉤を押下するとソースの設定が反映されます。



## ■Audio

入力ストリームの検知が可能です

## SRT設定

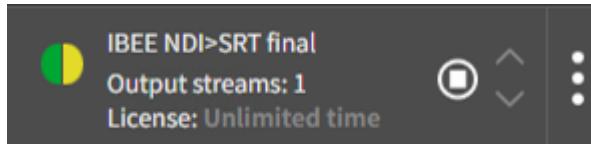
### 【SRT送受信の要件】

送信側と受信側でIPアドレス/ホスト名について名前解決できる事が要件となります。

トラブル回避の為、デモ・検証実施前にご確認をお願いいたします。

<備考>

以下はSRTの受信先が適切にストリームを受信できていない際の表示例となります。



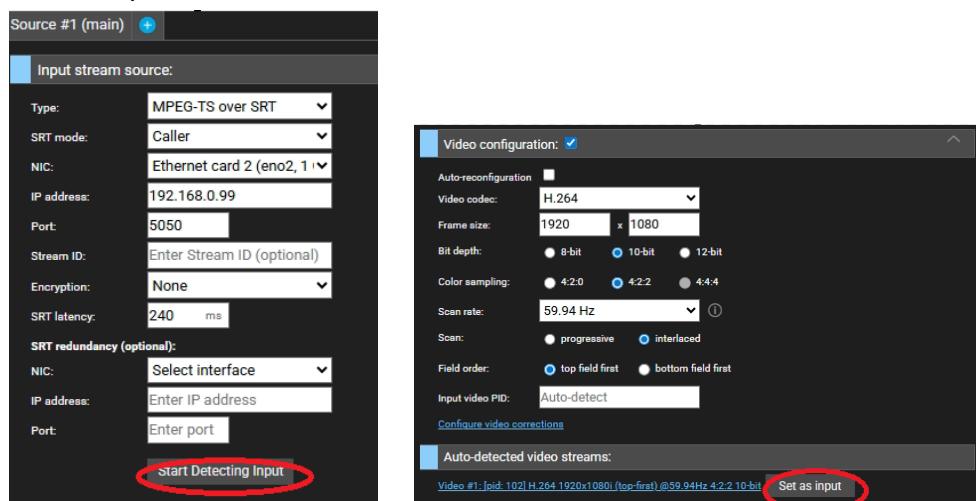
## Input stream source欄

以下設定を行ないます。

SRT modeでCaller / Listener、IP address、Port、SRT Buffer（デフォルト値：240）

その後、Start Detecting Input鉤を押下するとソースを検知され、

Set as Input鉤を押下するとソースの設定が自動的に反映されます。



## SDI設定

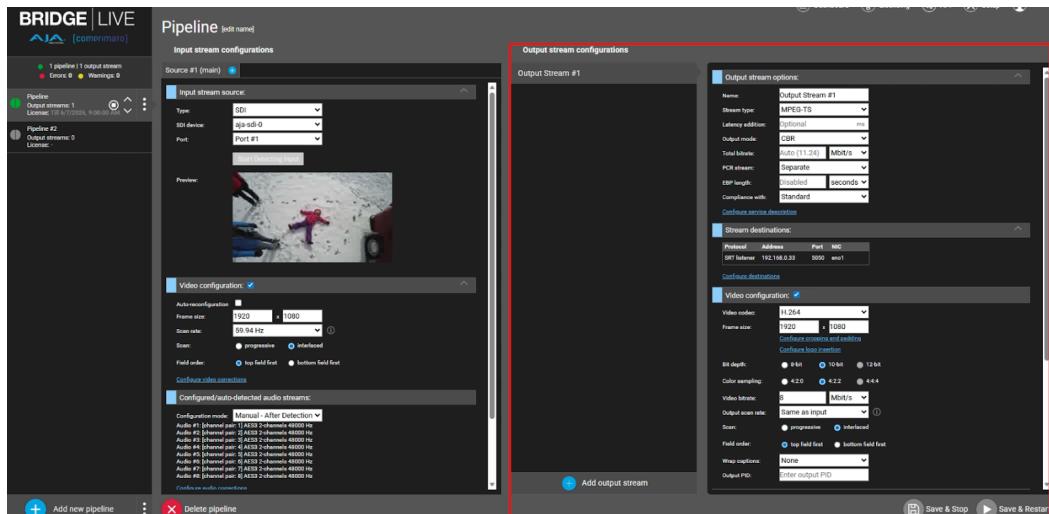
(Stream) TypeよりSDI、SDI Deviceよりaja-sdi-0、PortよりPort番号。

Stream Video configuration箇所にて、ソース/ストリームの設定を行ないます。

## NDI設定

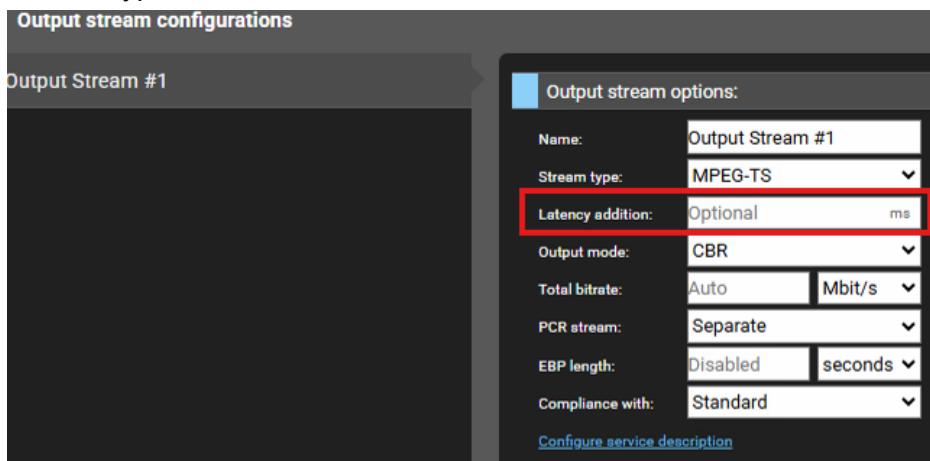
BRIDGE LIVEで検知されたNDIストリームを選択します。

画面右箇所 (Output stream configurations) で出力ストリームの設定を行ないます。



### Output Stream options :

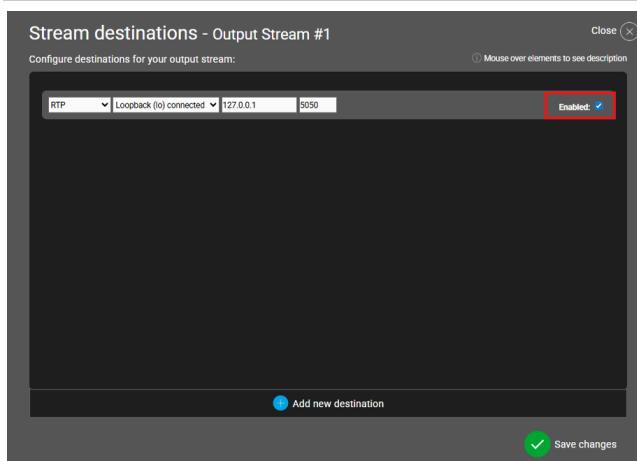
Stream type欄より適切なフォーマットを選択します。



**NEW** Latency addition欄より必要に応じ、Latencyの付加が可能となりました ( v1.18~ )

### Stream destinations:

Configure destinations箇所を押下、以下画面で必要設定を反映後、Enableにチェックが入るとデコード処理が開始されます。Enableにチェックが入っている事をご確認下さい。

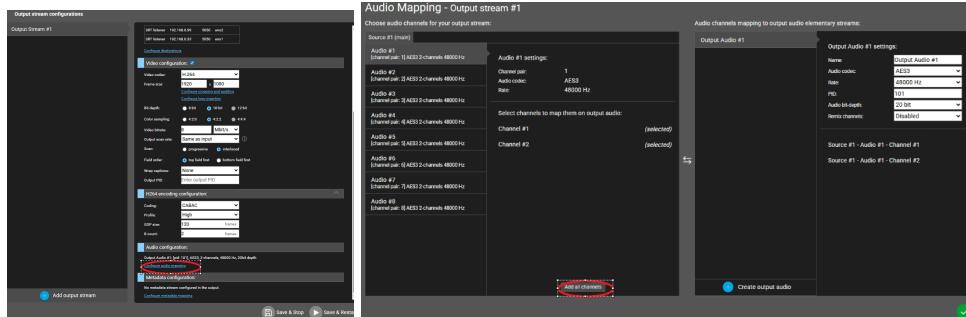


## video configuration options

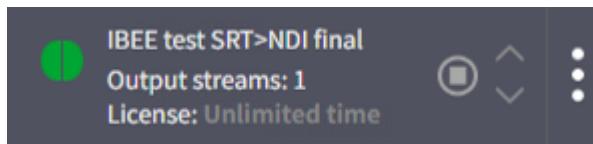
Video Codec, Frame size, bit depth, colorsampling, Video bitrate, Output scan rate, Scan, Field order等、必要設定を行ないます。

### <Audio設定>

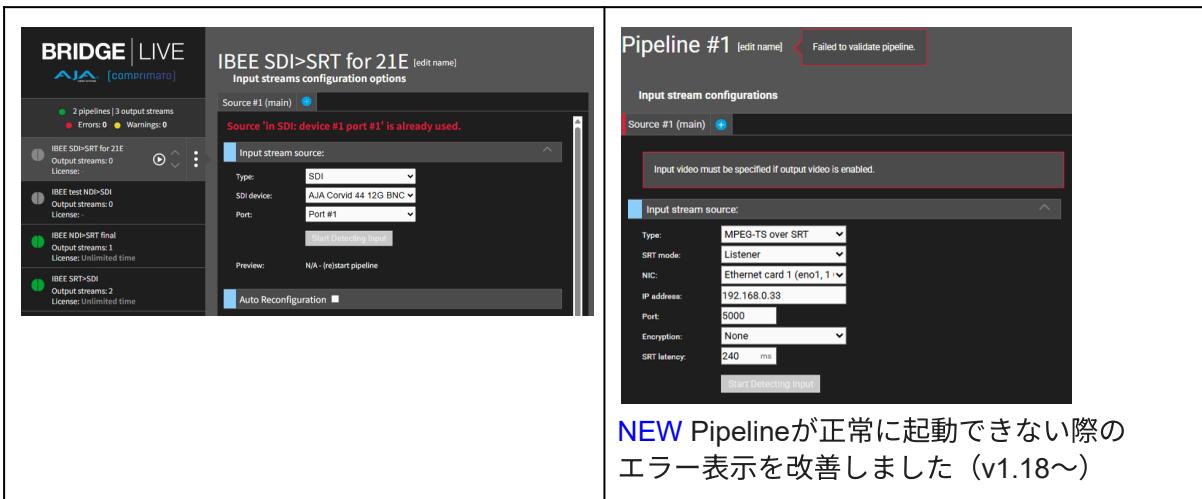
Output stream audio Configuration option箇所、Configure audio mapping をクリック、以下Audio Mapping画面で設定を行ないます。



設定完了後、画面右下Save & Restartボタンを押下Pipelineを起動します。  
設定が正常な場合、Pipelineが黄緑色に変わります。



設定に異常がある場合、エラー箇所が赤表示されます。エラー内容のご確認をお願いします。



出力設定を変更すると原則Pipelineの再起動が必要でした (~1.18)

**NEW** Outputstream optionでSRT・TS設定時、各種設定を追加・変更に伴うPipelineの再起動不要となりました。 (v1.18~)

## BRIDGE LIVEよくあるお問い合わせ例 (新規導入時):

- 「Auto Reconfiguration」が有効: 入力信号形式の変更時に自動で調整を試みる機能です。オーディオマッピングがロックされたり、不適切なルーティングになることがあります



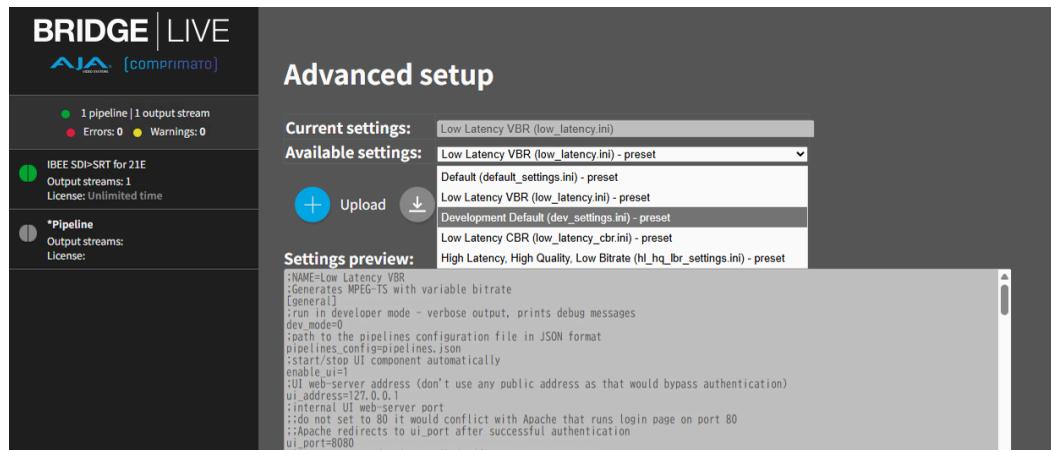
2.SDIオーディオがAC3に設定されている: AC3はSDI機器でほとんどサポートされておらず、ホワイトノイズの原因となる事があります。AES3 (非圧縮) に変更をお願いします。

3.ネットワーク設定の誤り: 物理的に切断されているNICがDHCPに設定されているとエラーが発生します。「Don't use」に設定することで解決します。

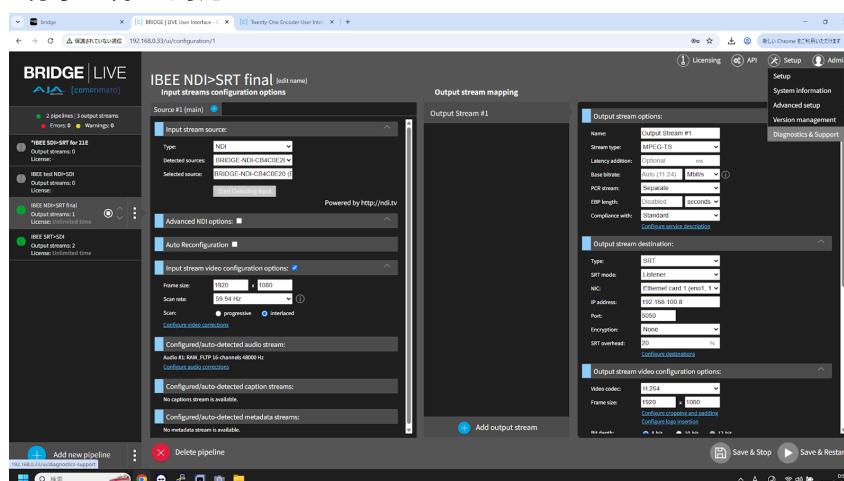
### 詳細設定 (Advanced setup)

エンコーダーパラメータを微調整できるテキストベースの設定ファイルです。

組み込みプリセット: Default, Low Latency VBR, Low Latency CBR, High Latency, High Quality, Low Bitrateより選択が可能です。新たに設定を適用するには、BRIDGE LIVE ソフトウェアの再起動が必要です。

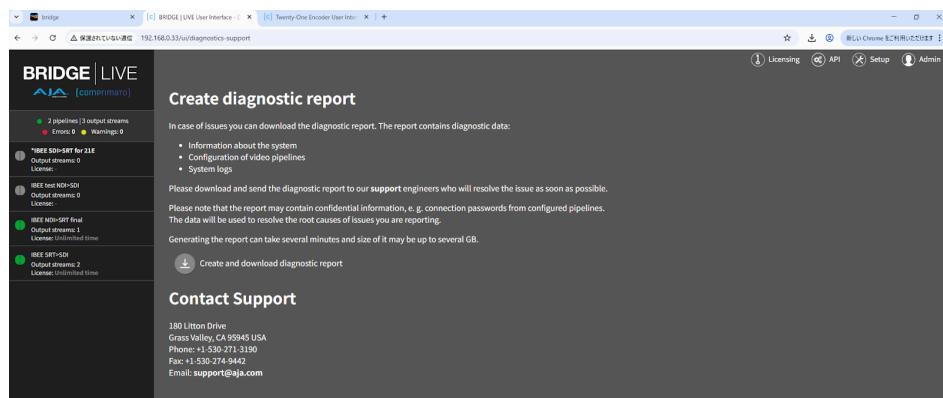


### ■有事の際の対応



画面右上、Diagnostic & Supportをクリックすると、以下の画面に推移します。Create and download diagnostic reportをクリック、生成されたファイルを以下弊社サポートポータルにてお送り下さい。

<https://415lzn.share-na2.hsforms.com/2mnjzzZXfR06VLaVXyp1lcg>



## ■問い合わせ先

本マニュアルについてご不明な点は以下サポートポータルにてお問い合わせ下さい。  
<https://415lzn.share-na2.hsforms.com/2mnjzzZXfR06VLaVXyp1lcg>

## 改定履歴

2025年10月29日	問い合わせ先を更新
2025年12月4日	input stream設定方法 (Tips) 追加
2025年12月5日	新機能 (v1.18) を反映
2025年12月24日	HELO Plusとの差異追加